

和歌山電鐵 2270系 たま電車

共通組み立て説明書

警告

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息などの危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ランナー上のパーツは、機能上、尖っていますので危険です。
- ランナー上のパーツは、機能上、縁部(エッジ)が鋭くなっていますので危険です。

注意

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁行を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 パンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時 (土日、祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

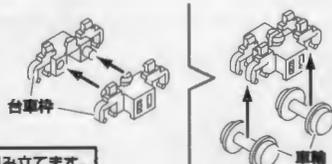
《商品・修理品送付先》 パンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時 (土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客相談センター共通

シャーシの組立て

1 〈台車の組立〉

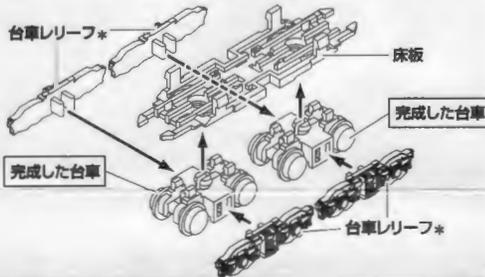
*台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。



*前・後2組の台車を、それぞれ組み立てます。

2 〈シャーシの完成〉

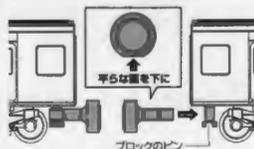
*出来上がった台車の5箇所ツメを床板に通します。
*台車レリーフを取り付けます。



台車レリーフの向きに注意。



カブラーの取付け方



- マグネットカブラー
*磁石で連結・解放ができます。(磁性(S-N)があるので、通磁する向きに注意してください。)
- ドロバー
*2両を固定連結します。
- ダミーカブラー
(先頭車正副車などに使用します。通磁はできません。)

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用動力ユニット①・機関車用」を使用します。
- 通常色(黒)と、グレーがあります。
- *床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。
- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

- *EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカブラーの首振り量が充分にできません。直進運転や、急カーブ、Sカーブ上では、運転が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用動力ユニット②・電車・気動車用」もしくは「同 動力ユニット②・路面電車用」を使用します。
- *左右4箇所の爪で、車体と固定します。
- *ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- *イラストは「動力ユニット②・電車・気動車用」です。「動力ユニット②・路面電車用」には前後のカブラーはありません。
- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- (追加ワザは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・走行台車③」を使用します。
- *台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピンに装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- *台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- *旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止めピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。
- *台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- *スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
- *新幹線など車体側にカーブのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- *SHCフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカブラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- *先頭車でスカートとダミーカブラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカブラー部分を切り取ってください。ピンあり ピンなし

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビESHOPなどでお買い求めください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- *線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- *Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- *動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(1両含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) *EF64e、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- *11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。
- ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)
- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ 通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT339タイプ 165系など 103系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ 急行電車① 空気バネ台車タイプ DT32タイプ 166系など 485系など
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ 通勤電車② ボルスタレス台車タイプ DT61タイプ E231系など
- 品番11-104 チビ客車用動力ユニット
- *「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車体によっては、窓の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)
- ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)
- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

■パンタグラフの交換

- *お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO:11-401 PS14:直直パンタグラフ グリーンマックス:80-2:PS13:直直パンタグラフ
- KATO:11-403 PS22:直直・下交差形パンタグラフ グリーンマックス:80-3:PT42:直直パンタグラフ
- KATO:11-404、11-420 PS16:直直パンタグラフ グリーンマックス:80-5:PT43:直直パンタグラフ
- クロスポイント:PT71C:シングルアームパンタグラフ
- *11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。

- このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。
- *各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが難しい(無い)場合もありますので、それぞれ調査のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要な場合もあります。
- *動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

*取り付け部が広い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取脱に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

車体の組立て

①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。

*ブロックの上下の向きに注意して、パテンと奥まではめ込んでください。



②屋根を取り付けます。

(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)

③妻板を取り付けます。

(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)

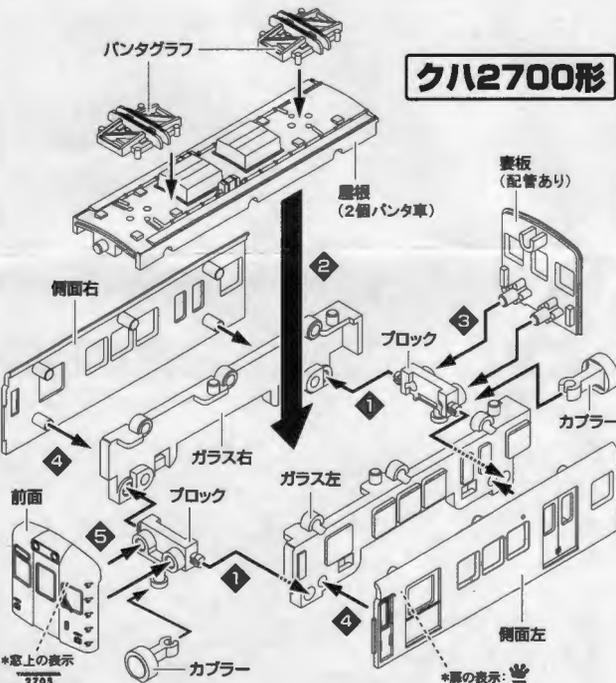
④左右の側面を取り付けます。

⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。(中間車は完成です。)

⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。

(スカート付きの車両は、先にスカートを前面に取り付けます。)

⑦カバーを最後にブロックのピンに取り付けます。



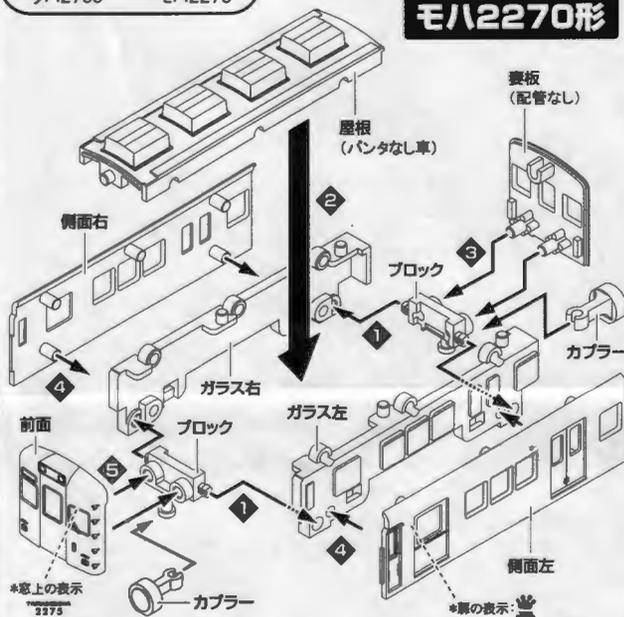
クハ2700形

妻板の組合わせ



本商品は製造工程上、あらかじめ側面パーツとガラスパーツを合わせた状態で封入されています。

モハ2270形



実車の編成例

*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。
*記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。

和歌山電線 2270系

← 貫志

クハ 2700形	モハ 2270形	和歌山 →
2701	2271	いちご電車
2702	2272	
2703	2273	
2704	2274	
2705	2275	たま電車
2706	2276	おもちゃ電車

ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。(別物のお取り扱いには、充分にご確認ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

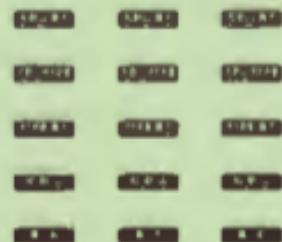


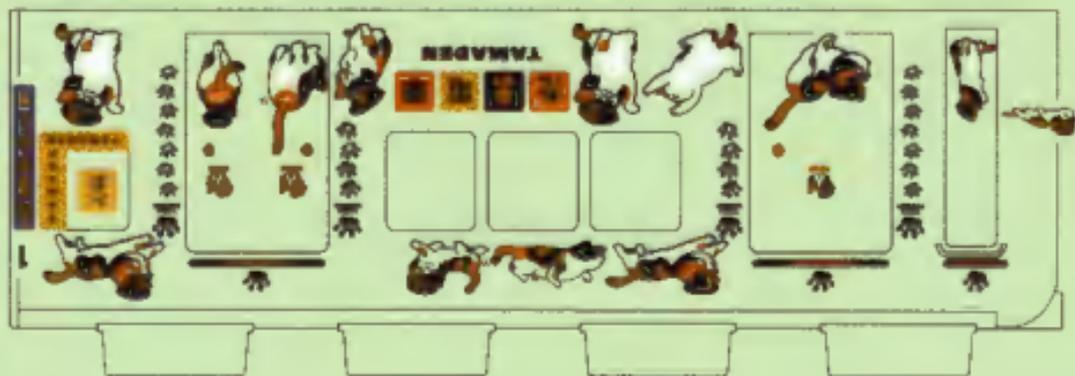
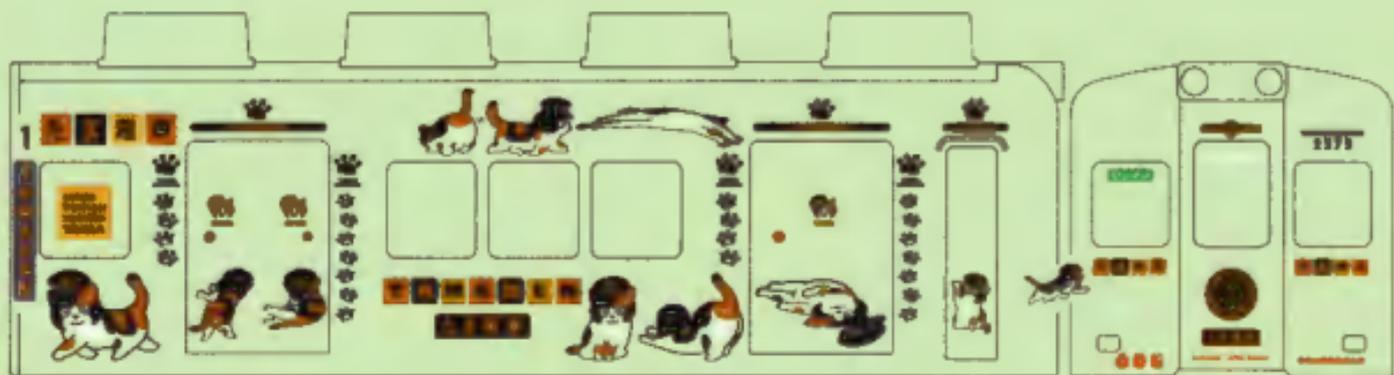
*パーツの継ぎ目部分の絵柄は、ステッカーになっています。該当する部分は切り抜いてお貼りください。

2270系・たま電車

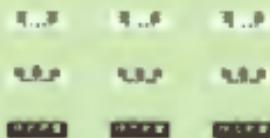


方向幕 (旧タイプ)





方向幕 (新タイプ)



(2013年1月より)